

40分

●目黒区研究開発学校としての「40分授業」授業時数について

40
1単位時間 = $\frac{40}{45}$ コマ $\Rightarrow$ (特例により) 1単位時間 (40分) = 1コマ
(年間授業時数例)

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
865コマ	925コマ	980コマ	1,015コマ		

●「40分授業」の特徴について

1単位時間：45分

45分×1,015コマ

1単位時間：40分

40分×1,015コマ

5分×1,015コマ=5,075分(第4,5,6学年)

生み出した時間：127コマ

児童	教育活動	教員	授業改善等
自己選択学習等		教材研究・授業準備・研修	
授業力向上へ			

40分授業午前5時間制の時間割

生活習慣の定着
早寝・早起き・朝ごはんの定着を図る。

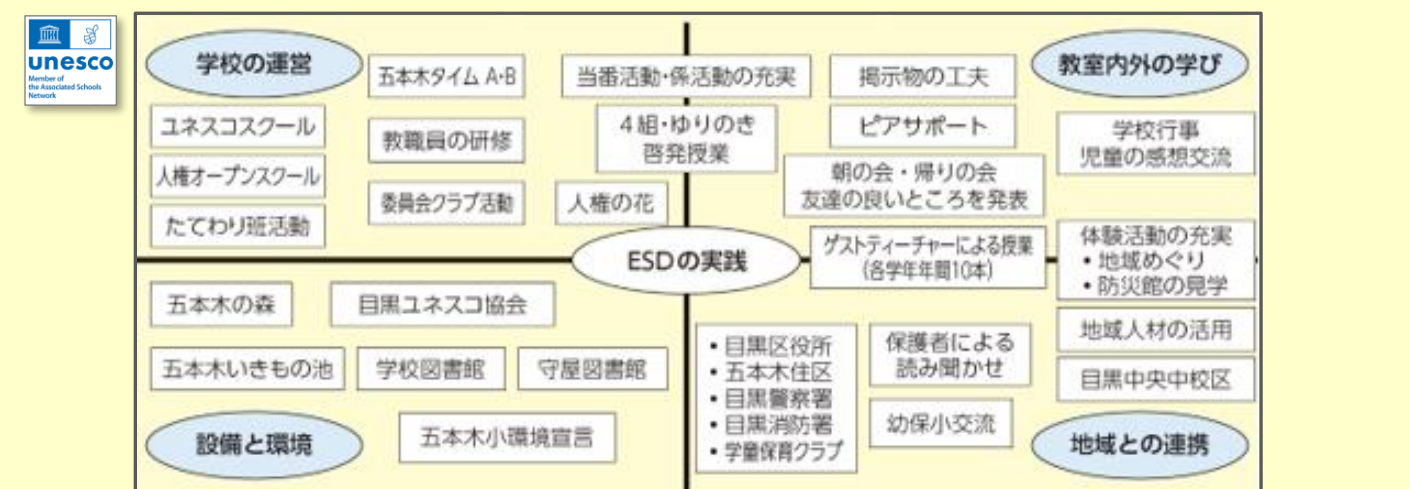
授業時数と
授業コマ数の
確保

集中力の高い
午前中に5単位時間
の授業を行う。
午前5時間制は午前中に5時間の授業を行うことができることから、午後の会議や出張に影響されことなく授業時数を確保できる。

自己選択学習
多様性に対応した柔軟な学びとして、設定する。

放課後の
ゆとりの時間

校時	時間	月	火	水	木	金
朝活動	8:20~8:30	全校朝会	読書タイム	集会等 基礎・基本の時間 朝の会	安全指導	基礎・基本の時間
1校時	8:35~9:15	1	2	3	4	5
2校時	9:20~10:00	6	7	8	9	10
3校時	10:05~10:45	11	12	13	14	15
		健康スポーツタイム				
4校時	11:05~11:45	16	17	18	19	20
5校時	11:50~12:30	21	22	23	24	25
	12:30~13:30	給食・掃除				
		昼休み				
探究	13:45~14:05	26.5 (令和8年度~)	五本木 タイム	委員会 クラブ活動	五本木 タイム	五本木 タイム
6校時	14:05~14:45		27.5		28.5	29.5
		帰りの会				
放課後	14:55~	校内研究 教材研究	行事委員会 教材研究	職員会議 教材研究	学年会 教材研究	学年会 教材研究
	15:40~16:25	休憩時間				
	16:25~	夕会			夕会	

ユネスコスクール **ホールスクールアプローチ** SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

40分授業の工夫 「デジタルを活用したこれからの学び」

子どもが自ら学び方を選択し、自立した学習者になることを目指した授業となるよう、教師が指導観を変え、子どもの学びを支援するという指導観に基づいた授業デザインを実現している。

◆自分が選んだ課題に向かって学びを進める。



◆自分の考えを構造的に整理する。

デジタルを活用した学び
による子どもたちの変化

◆誰と学ばか、どのように学ばかを自分で決め、自ら学ぶ。



◆自らの学習を振り返りながら学び方を学ぶ。

◆教員は、クラウドに上げられた情報から、児童の学習状況を把握し、個々に応じた言葉掛け、支援を実施する。

◆他の児童の考え方を参考に
して、学習を進める。

自己選択学習

児童が選択した課題に対して、学びの見通しをもち、方法や進度を選択し、学びを進める学習。

生み出した放課後のゆとりの時間【児童・教員】

児童にとっては、習い事があっても遊ぶ時間がとれるなど、自由時間の拡大につながっている。



教員にとって、研修や学年会の充実など、授業力向上につながる。